

長岡地区租税教育推進協議会長賞 佳作

少子高齢化と税金

新潟県立長岡商業高等学校

三年 松永 夏香

私たちが安心して楽しく生活できているのは、税金のおかげだと思います。教育を受けられているのも税金によって教科書代が賄われているからです。具合が悪くなって医者に行っても高額な金額を請求されないのも税金のおかげです。日頃さまざまな場面で税金によって私たちの生活は支えられています。

これからの日本は少子高齢化が進んでいきます。高齢化が進むということは年金をもらう人が増えるということ、つまり税金がたくさん必要になります。病気にかかる人も増えれば税金が必要になります。高齢者が増えるばかりでは、若い私たちが支え続けることは難しいと思います。たくさん働いて税金を納めても、賄いきれないと思います。だからきつと消費税率が上がっていくのです。私は自分で物を買うようになり、消費税率が5%から8%になった時、「なんで上げるの」と思っていました。その時は何も知らず、今思うと恥ずかしい考え方をしていたと思います。今の私たちは消費税という形でしか税金を納めることができません。けれど少しでも国のためになっていたら嬉しいです。

私は将来看護師になりたいです。看護師になったら、一人でも多くの命を助けたいです。そのためには安心で安全な医療環境を維持しなければなりません。もし、医療環境が整っていないければ、医療サービスを受けられず、病に苦しむ人が増えていきます。そんな日本は絶対に嫌です。私たちが高齢者を支えていくには税金をたくさん納めるしか方法はないと思います。たとえ消費税率が10%になったとしても良いと思います。むしろ早く上げるべきだと思います。多くの人が税金を納めるために働いている一方で、働かずに暮らしている人がいるというのが現実です。決して働けないわけではないのに、きちんと働かないのです。私はそのような人達がいなくならないのがとても悔しいです。けれどその人達が働けないのには理由があるかもしれません。そこで、働いていない人達が働けるようにサポートしていく事が重要です。困っている人がいれば助け合えばいいのです。そうしてみんなが働いて税金を納めれば高齢化にも対応できると思います。私も大人になったら、たくさん働き1円でも多く税を納めます。安心した医療サービスを提供できる社会をつくっていきたいです。